

“分離”で社会に貢献

株式会社ワイエムシイは、山村社長が昭和55年に設立した株式会社山村化学研究所からスタートしました。主業は、液体クロマトグラフィ用分離剤およびカラムの製造で、混合物質の分離分析や、各成分の高純度品の分取を目的に利用される商品です。その後事業を拡大し、さまざまな顧客ニーズに応える中で、研究開発の少量スケールから大量生産に必要な大規模スケールまでのクロマト装置の提供や、受託精製まで、トータルソリューションとして提案できる世界でも数少ない企業に成長しました。

近年は、分離・分析の技術をさらに磨き、最先端の医薬品や機能性食品、医療検査、環境調査など、私たちの生活のあらゆる分野でなくてはならない存在になっています。同社が今後のターゲットとして見据えているのが、世界的に年々市場規模が拡大するバイオ医薬品の分野です。人類の未来を大きく変える可能性があるバイオ医薬品は、安全性や効能の検証が不可欠なため、同社の強みである高精度な分析や分取技術に対するニーズが急速に高まっています。山村社長は、M&Aによる企業買収や自社工場の新設など積極的に投資を行うとともに、「顧客から尊敬され選ばれる企業へ成長しよう」と、日々社員を激励されています。



山村社長（左）に岩倉にある京都研究所をご案内いただきました

株式会社ワイエムシイ

代表者／代表取締役社長 山村 隆治
住 所／下京区五条通烏丸西入醍醐町284 YMC 烏丸五条ビル
T E L／075-342-4510
事業内容／高速液体クロマトグラフィ事業

小さな藻で大きな革新を



石井社長（中央）に顕微鏡の手ほどきを受け、珪藻を見せていただきました

株式会社 SeedBank

代表者／代表取締役 石井 健一郎
住 所／左京区北白川西町76-1 西町ハイツ
T E L／075-708-7872
事業内容／微細藻類の分離・培養

株式会社SeedBankは、微細藻類の研究開発受託・研究開発支援を行う、平成29年設立の新進気鋭のバイオビジネスベンチャーです。微細藻類とは、自然界に広く生息する植物プランクトンで、生態系の根底を支える一次生産者であり、人類に有益な物質を生産する生物として注目されています。例えば、微細藻類のひとつである珪藻に含まれる「シリカ」は人間の毛髪や皮膚、骨格形成に必須の栄養素で、効率的に珪藻を大量培養できれば、健康や医療分野での展開が期待されます。

しかし、わずかな水や泥の中にも無数の微生物が含まれており、狙い定めた珪藻だけを取り出し、それを培養することは、大変困難なことです。京都大学の研究員でもある石井社長は、世界的にも高い評価を受ける学術的な知見と、顕微鏡を覗きながらピンポイントに微細藻類を操る職人技的な手技をお持ちです。今後、石井社長は「大学の研究シーズを産業という形で社会に還元したい」という方針のもと、企業との共同研究に取り組み、医薬品や化粧品、水産飼料、食品などの商品化を計画されています。小さな研究室から大きなイノベーションを起こす予感がします。



会頭のひとこと

今回は人類の未来をより豊かに切り拓こうとする技術系ベンチャー2社を訪問した。技術をさらに追求され、京都から世界にインパクトを与える企業として活躍されることを期待したい。